

キツネ

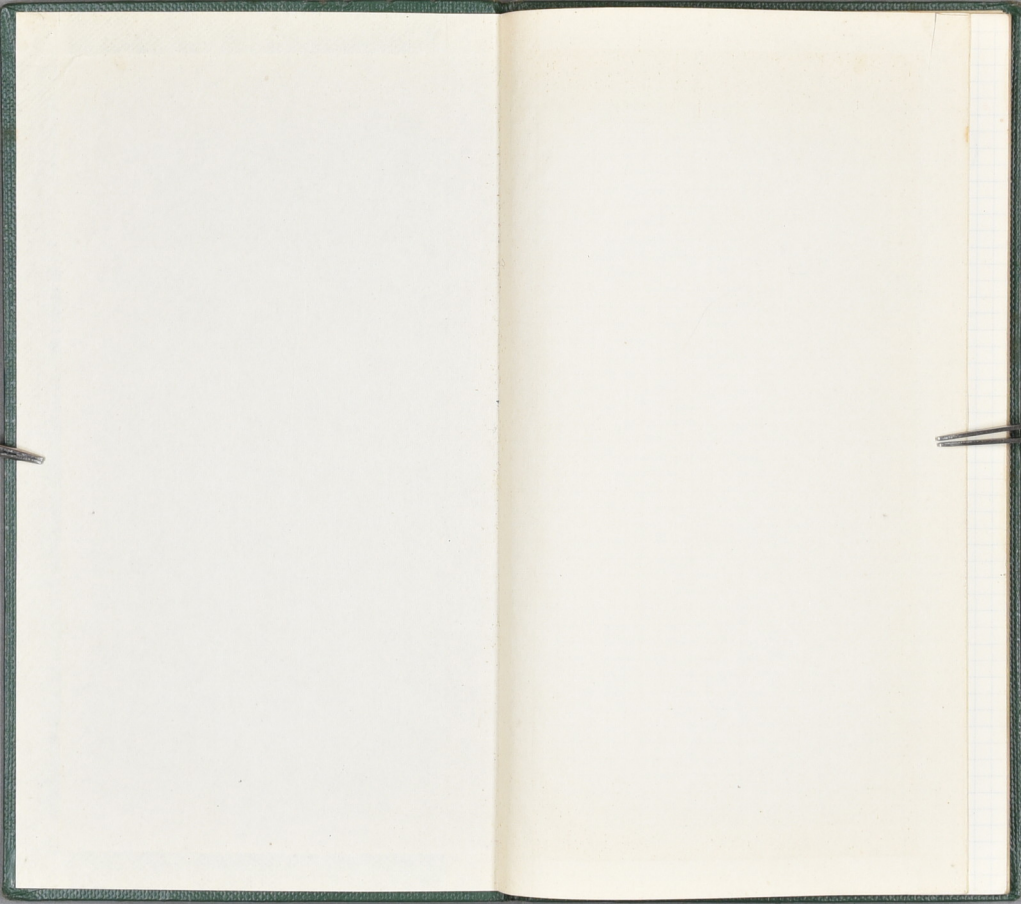
DATE BOOK

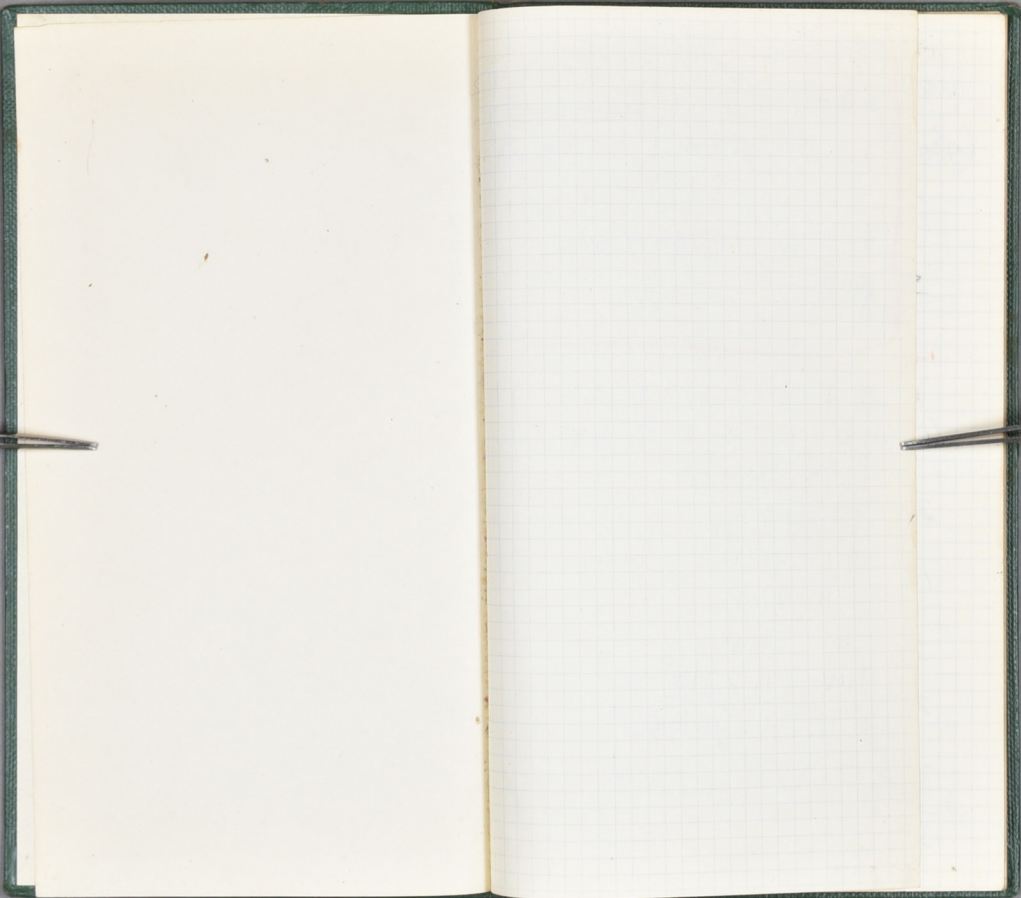
no. 2

1970 6月

1

9日





根室落石 (伊藤徹也)

(捕獲)

6月2日 1隻8頭 ~~子1頭5頭~~

5頭E逃がし 3頭E捕獲
(2♂1♀)

6月12日 1台 BW 1.3kg

6月23日 2頭採

根室落石の親交道路の同部車
4200423Cに♀今年産

1970-6-28

BL 44.5 cm 吻-annus

TL 20.0 annus-尾端

HF 11.8

E 5.8

BW 1.22kg

全身Fur2y2漬

地♀2 ad of skull by

伊藤

根室清水

July 2-3. 1970

no 32

(23 破壊)

(31 破壊 - 1頭確認
土中のみ)

43 破壊 6月2日

no 44 6月18日 28日

1
3頭 4頭

竹田津の確証子ナツ木叔

no. 1. 5頭 6月19日

no 2 6月27日 5頭

3 6月20日 3頭 + 死亡 1

4 6月22日 2頭

8. 6月6日 3頭

9又10 9又10 6月20日 4頭

20 4頭

17 5頭 5月15日

35 4頭 6月2日

29 6月13日 5頭

33 6月14日 4頭 + 死亡 1

36 6月12日 3頭 1

6 6月6日 4頭

26 6月19日 4頭

20日 (4頭死亡)

42 6月2日 5頭

32 6月5日 2頭

40 6月28日 5頭

39 4頭 + 死亡 1

14 5月10日 2頭

38 5月31日 4頭

44 6月18日 3頭
28日 4頭

41 6月19日 3頭

11日 3頭 + 死亡 1

33 7月 6頭 死亡 1

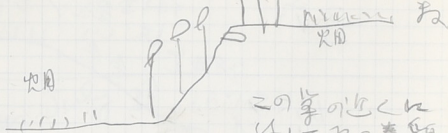
221号の筆の子1頭交通
事故死

27 昨年子をとりぬ(2頭)
本気は放棄。

no. 9 111の3本足の早か
本気はno. 32の近くで2頭
の子をつとめた

no. 17の筆 6月19日子を
つとめて飼育の確認。

no. 40 = リトツ4羽 使用中足跡
みね



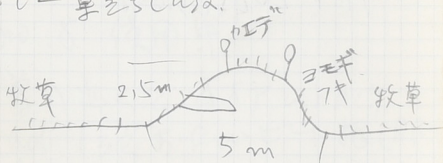
この筆の近くに
は1万羽の巻鴉
ゆかりあり毎日
平均2羽の30
かあり。キツネか
足跡みねあり

no. 38 筆の近くの火田に足跡



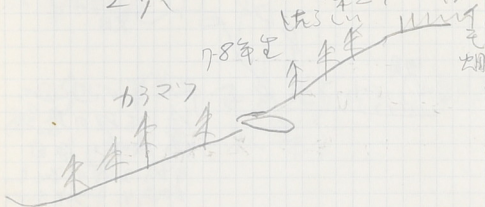
カササギの筆でこの子か
足跡みねかどうかは不明

no. 42 筆を5した後。 = リト



子ウレ大廻り

no. 41 ニケトリ, 掌は一部推了
二穴 小石籠 (汗が
流した)



no. 44 現在は掌を流した



ニケトリ 20ヶ所と3ヶ所

no. 29 朝か13ヶ所親をくわえ
てくる。

July 2 1970

no. 17 草立. 足跡なし

no. 14 4穴 子かごたらし

い足跡は多おちるか

現在は草立したらしく新らし

足跡は全くなり ~~た~~

穴はクモの巣あり

7ヶ所捨る

no. 8 使用中

掌の速くでアアアトがり

ad. 1頭 お. 尺い. ビート. 根 (昨

年の初) 1512 花虫いすれ

くわえいすれ

7ヶ所捨る

no 10 全く使用していない
長い期間使用した形跡
がない

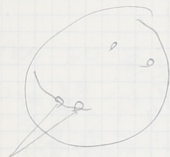
no 9 オーバーハンク下には
足跡を掘り出すまで
いじらない

ゴキ捨場

完全に使用していない。
しかし近頃は時々まじり
しく足跡あり。フン、鳥骨
採集、ニリトリ羽

July 3

no. 13 32体分の頭骨
25枚採集。他の1体は所在
不明のため採集しなか



掌の中の穴は新しく掘ったばかり
りで中にはいつていじらない
今朝掘った新しい砂を
かき出してある

no 11 全くまじりない
しかし近頃の草の中にフンの
おいた足跡あり

no. 12 使用中筆の並く

~~親筆の並く~~
~~親筆~~ 子、今年親を
親植んは

6穴 (大3.. 1は浅い物)

フン多取捨

子は毛が長く吻が矢張り
の親と9月別は容易

父親は体が非常に大き

子よりやや大き程迄、大き

非常にやせ、人に無関心。

10m程まで進んで

穴角に2つで掘り。進んで

土管にはいる。進んで親

はるか父親より1週り大き

く毛も多し。神経質で

人を近づくない。4-50m程

進んで穴を

no. 13 筆並し不使用

サワグルミ、ミズナラ、セニキ

イナカエテ

5穴

no. 20 筆並

筆穴の下口に棒をたてたれか、

が子を這うとした跡あり

しかしその後その横を掘って

使った形跡あり。

現在は暗い事この程迄

2穴新しい足跡はなし

下の穴がイモ畑も足跡あり

no. 26 穴 ~~中~~ 何となく

いすも大。筆並し全く

2つより多取 使用し

し
足跡あり

no. 1 筆記 全記事の整理

下書き使用第5号

シート 212 あり

=7トリ付多数

7>多数採集

未公開

no. 32, 27, ~~4~~, 31, 4

25, 23, 37, 30 34

no 2

午後 5:00-5:30

子3親2付

石親帰るまで長加何也

くらえりあり

Aug 5 — 1970 小清水の

no. 40 の巣の北側に 27トリ 10000羽

Aug 6 朝 小清水着

午新中

no. 17 の巣 また キツネか もど
つて 少少 巣の 前は 足跡 ぶみ
跡 など あり。 巣の 中は ひとつ
11羽か どうか は 不明。 どうも 中
には ひとつ だけ いる 様子。

フン 採集

no. 18 離農した 家の中 今も
は ひとつ だけ いる 様子 (足跡 あり)

また 27トリの 羽毛 多数 あり
但し 最近 床板 を つかした 様子
あり。 現在 使っている かどうか は
不明。 横の 空気の ぬきの 穴 から
出入り した 跡 あり

no. 35 の 巣は 巣の 横 コシ
捨場の 一部 から アウト 一サツ
土 を よせる ための 2。 現在
2の 巣には 全く 来て いない
11。 但し 巣の 部分 は 全く 2
54 だけ いる。

no. 19 ほとんど 来て いない。

no. 20 巣の 前 の 跡 は 雨の
跡 から 踏り ほとんど 来て いた
が 少少 の 足跡 あり。
跡には ほとんど いる。 フン 羽毛
採集 様子 2の 巣の 近く
新らしく 少し 掘り かけた 穴
あり (向って 左)

no. 10 全く 来た 形跡 なし

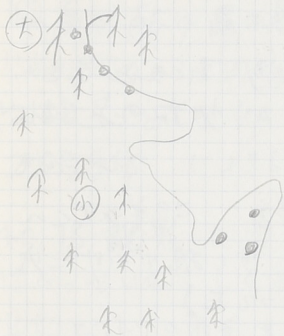
no. 9 最近 来た 形跡 なし

no. 8 全く 来て いない。

no. 40 草の迹 (い) は足跡
 なし 1 歩とんとまじり
 ヒート 7 13 3 歩、しかし
 27-17 13 くの道路 撞
 は足跡あり

穴 大 4

少しはなれ 2 3 歩



no. 14 全しきりなし

no. 38 2 歩はせきり 草の迹なし
 3 歩、しかし 2 の歩跡は 迹に
 まじり 3 歩、足跡あり、新し
 し 7 歩、1 歩を 拵 拵 ジャガイロ

no. 30 一子 3 歩

Aug 7 晴

no. 36 全しきりなし

7 歩 拵、おどり場の
 おどり物 すぐ下 (約 5m)
 に本穴あり
 大型穴



カラス 1 羽、27-17 羽

no. 26 ほとんどの葉が新しいから
葉の前の土の上には2本の新しい
11足跡あり

no. 1 葉は新しいから
掘の牧草地の足跡あり

no. 41 全く新しいから
ニクトク羽毛
フニ少牧草

no. 2 新しいから少し
しかし、7月牧草のフニ多牧草

no. 3 新しいから

no. 13 全く新しいから

no. 29 全く新しいから
カラス1羽
ニクトク羽毛
ウシの糞

ニクトク羽毛の葉
7月初めに牧草葉にいた
かカラス1羽を捕らせた
①-②③-④全部が移動

Aug 8 曇り晴

no. 33 近くの牧草地造成地
新しい足跡あり。親と子の足跡
近くの岩に1羽今朝5時のキンネ見たと
いう。
no. 2の近くで1羽キンネ羽毛
中を観察。すくなく完全に夏毛と
なり、葉や花の赤褐色と赤い尾端
の白が鮮明。カラスの羽毛でフニ
採集。

16-17 線 3-4号 巻付け場

現在

4000羽位 込所の家も600羽

Φ=7ト7 1月35-36羽死亡

捨てる。腫れ付鶏舎に付くと
と34羽ととが有る。

20.30

町営牧場 牧草地 余羽

の穴 本穴3穴 振りかけ

1位 7-1 採集(鼠疫等)

たむし



母

Aug 9 十清水池 正午から
中標津着 青木氏. 高宮氏
出迎えてくれた。

その後 Na no 1 とみ子 キツネ
は金じきでいかにフと集
採集。

この集の跡地はエツヤがた
荒れしむらじく。ササがた
量はくたつてい。24m²に
14個所のくみ跡あり。

30-31 線 南3-4号

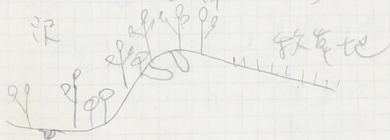
カキアミス¹ナ² 等の林内

集かありし。1968年
22日 採取し。子がとれた。

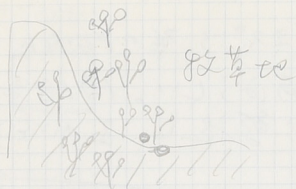
南4-5号. 29-30 線の
家215前にはキツネニワ
リをとれた。こはありか
今年は今くはとれたとい
う。そのため土の集では
今年はずをうまなかつた
らしい。

no7 29-30 線 南6-7号

沢



2穴 現在は壊つていない
今年はずをうまなかつたらしい一つの
穴には落葉あり



野地

この巣は2-3年前の子をうんだという。今年4月23 → の穴のまをかきだしたらしい。

29線、11-12号、遊園地

最近ハキツネをみたことがないという

no.8

35線南12号

近の離農したブツク家屋で
昨年は當年し子をうんだ。

家の床板ははかして11号か
巣跡あり。今年も中は
11号かとは明らかである

39線 11号 角の家での巣のみ

no.9

35線 12号の離農家屋の下方
付300mの所に巣あり。
木の株の下にある穴

39線 6号 共同放牧場内

no.10 木木の堆積の下にて ~~昨年~~ 昨年

子をうむ。39-40線 2-3号

子2頭

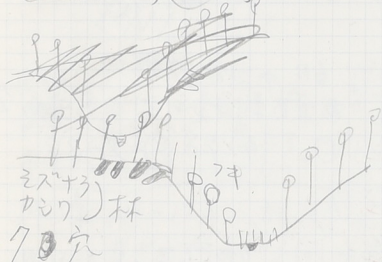
本年も同じ場所です草が倒り
かいたのび子をうんだらしい。
また2のすぐ近くの敷根線の所に
今年も親2子3頭をみている

上の木の堆積の下にはキツネ
かはらつた跡あり。フシ多数
採集。卵は確実

掘り出した木の
根の堆積

Aug 11 1970

no. 11 カワ、エスナ、シカハ
天竺材内沢地斜面上部
~~(土中)~~ (3区)



カワ古川に於て使つた草の
好むが現在は全く使われ
ておらず穴に落葉が好む
数年前の草花(古川)

下山光治
(2区)

雨期調査必要事項

カ津水町

no. 穴板 円筒

- | | | | |
|----|------|--------------|--------------|
| 4 | 草穴乳 | ○ | |
| 5 | | ○ | |
| 11 | | ○ | |
| 12 | | ○ | |
| 15 | | ○ | |
| 23 | 完全露地 | ○ | ○ |
| 25 | 草穴草 | ○ | ○ |
| 27 | | ○ | ○ |
| 29 | | ○ | ○ |
| 31 | 完全露地 | ○ | ○ |
| 32 | 草穴草 | ○ | ○ |
| 34 | | ○ | ○ |
| 37 | | ○ | ○ |
| 38 | | ○ | ○ |

穴数 方向

39



① 44



中樺湖

中樺湖小清水

Sep 18-24

Sep. 19-20, 1970

~~○ 狩猟会小清水支部におけ
る1969-70冬におけ
るキツネ捕獲数を調査~~

○ " 中樺湖現場
ウサギ、キツネ捕獲数

○ 小清水営林署から調査地
の国有林地目録(不図) ウサギ
調査

○ 中樺湖営林署から "
ウサギ不図調査報告書既使用済

○ 中樺湖森林組合におけ
る703トール使用量、ラテン

~~○ 小清水森林組合におけ
る703トール使用量~~

○ ウサギの狩猟調査

中津川
林務課

Sep 19. 晴 1970

3000kg フォーリン
3000ha分

ラテミン 500ha分

リンカ 2500ha分 室内

民有林
町有林
村有林

44年分

ウチヤ 約1000 (5ヶ所也)

1区 10019 (5019町より
5019林務課)

猟友会 支庁林務課

根室支庁管内捕獲数

44年分

115+54 172 キツネ

1260 ウチヤ

43年

キツネ 51

ウチヤ 1041

42年
キツネ 60
ウチヤ 1398

ハクセモイ 冬取

1077キ シメ、ヒメ

アオシ アカイ

コヨシキリ (オオシメ、ヒメ、ヒメ、ヒメ)
2羽 (11羽のオオシメ)
川上ヨモギ 案内

アオシメ、コカサヒク(2)

アオシメ、コカサ

ヒメ、アカイ、カイツブリ

中津川 北側 西20線-21線

向の春 鷺 坊では キツネニキトリ

ヒメとオオシメとはないし、オオシメ

ニキトリを捨てても (1羽) しか

冬の間 捕まっていた子 オオシメ

(かし 獣大が 何かの 捕まえた子

オオシメ)

西19号の樺津川の橋の
近くでフン3匹を拾う。近くの
キヤンコン持って来たらしい
カニのカウエウをくわえている。

● 新らしい足跡あり
橋を渡った対岸(南側)の町營
ゴミ捨場あり。

Sep. 20

18号樺津川南側(農家)^{20年ほど}
前に近い川辺の山で巣かき子
をいれたことがある。4-5年前までは
朽木が川面にびっしょりかき合
いはない

● 南1号 17号の次の農家(東側)
最近ではキツネを見たとはい
ニワトリをとったと聞いて
同じ東側の農家では昨年
の今頃1匹掘りの際1頭み
たという噂は知らない

Sep 21 小清水町
1
23

10:30 8月26日 出入り跡あり

10:32の近くで8月下旬
ニワトリと尻が親1頭(♂)
を捕獲

小清水町 町役場
森林組合

ラジコン(強力)のみ

700/Ra

ラジコン使用量

48年 816 町営

ラジコン571 Rf

小清水町は山岳地
は大部分は山林。民有
材は平野部。

民有林
町有林

ウサギ害 平野部ではほとんど
なし

(44年度 ウサギ 207頭
町補助金
1頭150円

○ササ(補助金令) 毎年200頭

44年分
キツネ8頭(猟友会)捕獲

前年
捕獲

キツネの
猟期以外でも特別許可
を出したのが今年から始まった。
キツネは増えている証拠

44年分を補助金打ち切
これは捕獲数が少ないため

no. 25 カラスツ林内には第
1のもの全くなし。これは
23, 42と同じ個体か
使っているのかわからない

no. 4 スローガ松林内には
第1のもの全くなし。これは
no. 3の個体か使っている
のかわからない

11線ロ号国巻111号
4-500羽 昨年まで

現在2000(今年から2000羽に
減らした。) 毎日1-2羽死亡

今年6月に毎日2, 20-30羽
とされた。合計

6月末に小屋には11羽の早繁
のキツネを1頭とれた(乳が
どどりの子をおとれた
のはまだいない)

2羽を飼っていたのは2羽
まで。

岡本久徳

18-19線13号の1989年

12月30日 親早牛死亡

丸撃ち
12月31日 埋めた。12月2日

後にはキツネが振り始め

3月末頃までくわの跡けた

何頭のキツネかたてたかは
不明で餌が数頭かきた
らしい

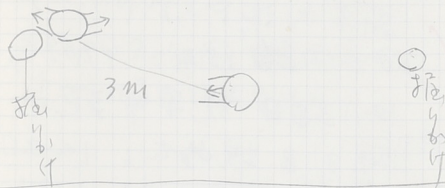
- ① 教牛の死と殺と死因
- ② 子牛の死と殺と死因
- ③ 正常出産概

sep 22 干新雨 午後 晴

no. 30 9 牛

2 牛 (3 穴)

土や使った牛をうし



no. 29
2 穴

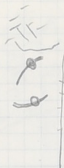
フン拾う
8月13

no. 17 フン拾う 8月分
~~7月分~~ 8月初めに拾った
たの 27 8月中旬にも 27 まで
11月 27 15 10月 3 か

no. 20 フン拾う

no. 8 フン拾う 2 穴

no. 40 の 牛の 世の 農家
で 40 羽 の ニワトリ
毎日 1~2 羽 つつと 3 穴
全部 した 中



sep 23 晴

no. 26 全しきりやう

no. 1. 全しきりやう

no. 2 フニヤ敷拾う

8月11日午かたのフニヤ敷拾う 2個

あり (土量あり) 厚紙

家の近でもフニヤ拾う 2個あり

1個はあつたヒツツ頭骨 2個あり

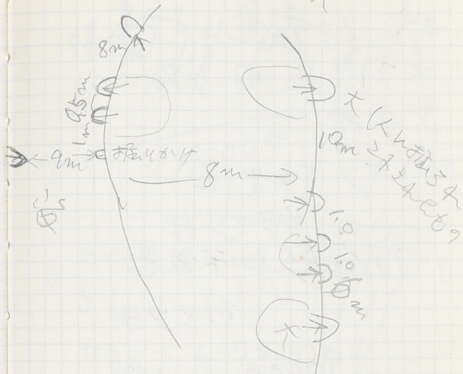
no. 12 全しきりやう ~~す~~ 今年

はいつた形跡なし. 家の中

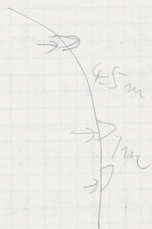
にはかみかみ入小の草の

葉子敷あり 3枚

no. 11 全しきりやう
8枚



no. 12



no. 45 0-1号. 13-14日録

8穴 7=大量の採集

=7トリ足. 用多板

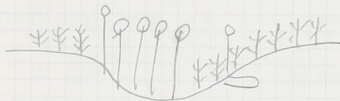
77骨

カマツ 5年史位

||||| カマツ林

||||| 天竺林

||||| カマツ林



近頃の岩家ごは子2頭親1頭
をばは親産した

no. 46 5-6号 9-10日録

4頭の子の中2頭捕獲(下山
突取)飼育. この親は近頃の

7トリ母小屋に1つ2と3と
4とのびその後でなくなった。

小清水町 牛
1年 2500頭の生産

後産 4.5-6.5kg

4600 12500kg

キツネの飼

0.5 | 125.00

この量は no. 41 と同じの
5し。

カマツ 6-7年史の中

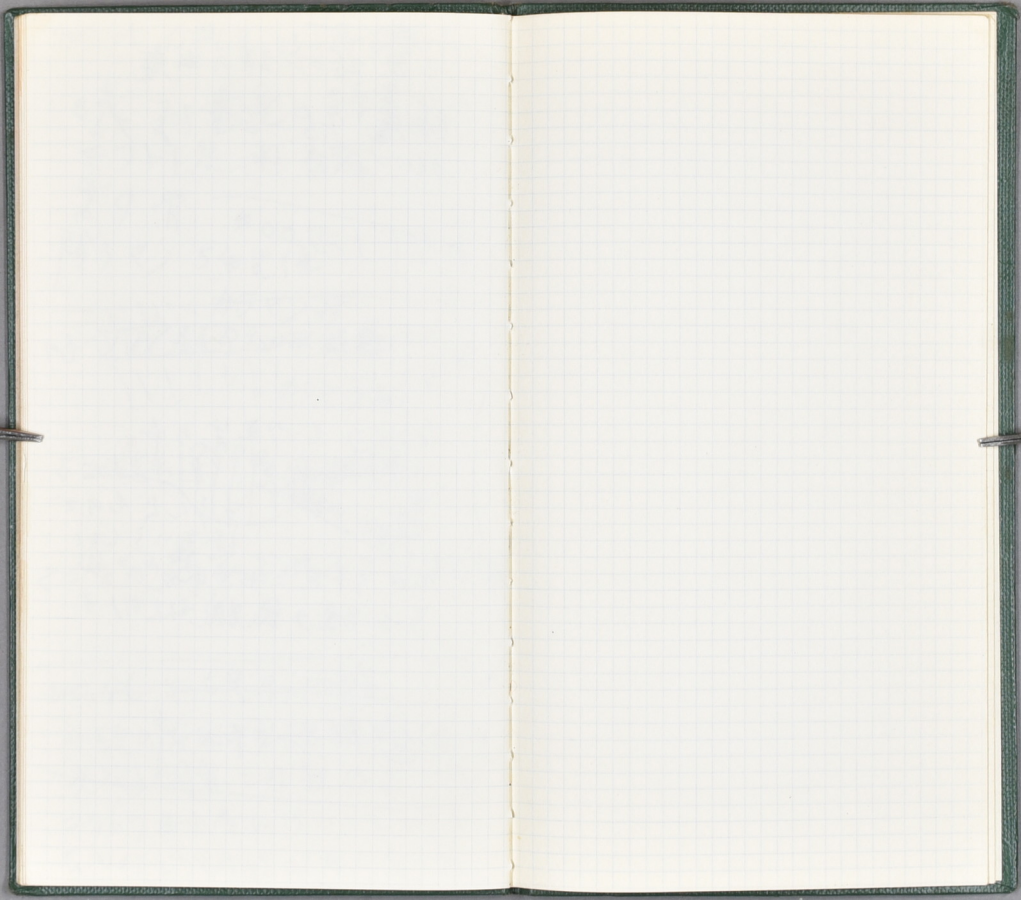
1穴のみ発見. 但し2で子

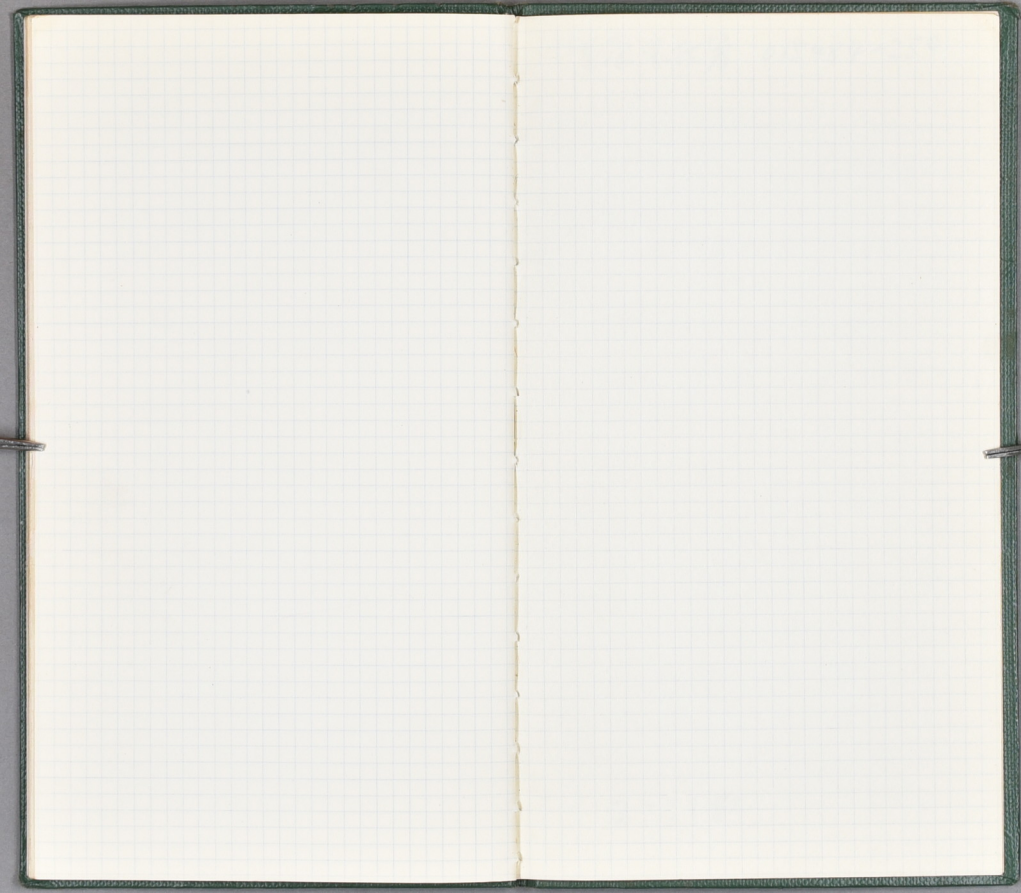


をうんだものが
15年し。

no. 41 をこたせられたの2こ
5し 8つたし。

川急 → 47回録





博卷五排第 015484-250

2-3182

根室保健所

所長 栗村幸雄

衛生課長 今泉利徳

中標津保健所 2-2168

所長大脚栄

次長佐々木起三郎

衛生課長 青木 林

食品乳肉検査 植竹日出夫

一色福館 2-2336

高宮氏

刈海村 農共済

所長 田中昂

獣医 三原 修正

所次 坂寄 芳郎

根室市本町2丁目

岡洋服店 町3734

(北平八幡一丁目)

穂香

岡打 清

前存氏 —

東二条北三丁目 白洋荘 横

1000
0.55000

